2023年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年８月10日

上場会社名	東洋合成工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	4970	URL	http://www.toyogosei.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 木村　有仁	
問合せ先責任者	(役職名) 経理財務部長	(氏名) 篠﨑　史朗	(TEL) 03-5822-6170
四半期報告書提出予定日	2022年８月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2023年３月期第１四半期の業績（2022年４月１日～2022年６月30日）

（１）経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年３月期第１四半期	9,232	11.1	1,466	△1.8	1,788	21.2	1,229	20.5
2022年３月期第１四半期	8,309	―	1,492	96.2	1,475	88.9	1,020	88.0

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年３月期第１四半期	154.97	―
2022年３月期第１四半期	128.55	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年３月期第１四半期	45,972	17,180	37.4
2022年３月期	46,886	16,061	34.3

(参考)　自己資本　2023年３月期第１四半期　17,180百万円　2022年３月期　16,061百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
2023年３月期	―				
2023年３月期(予想)		20.00	―	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2023年３月期の業績予想（2022年４月１日～2023年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	20,000	27.3	2,450	3.4	2,400	1.7	1,650	1.5	207.89
通期	40,000	20.7	5,150	11.4	5,000	4.3	3,500	1.2	440.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

（注）業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年３月期１Ｑ	8,143,390株	2022年３月期	8,143,390株
②　期末自己株式数	2023年３月期１Ｑ	206,467株	2022年３月期	206,467株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2023年３月期１Ｑ	7,936,923株	2022年３月期１Ｑ	7,937,050株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（収益認識関係） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻継続による原燃料や食物価格などの上昇、中国主要都市でのロックダウンなどの影響により物資価格が上昇し、インフレが顕在化しました。米国などはインフレ抑制の為に利上げを行い、円安が急速に進行しました。わが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による活動制限が緩和されるなど経済活動が再開し、消費に回復の動きがみられました。しかし、円ドル為替相場や原油価格の変動は激しく、感染症再拡大の影響などもあり、先行き不透明な状況が続いております。

世界的な半導体供給不足が続くなか、電子材料業界は、感染症の拡大に端を発したグローバルロジスティクス停滞や一部領域での在庫調整があったものの、サプライチェーン上の在庫確保や、米中の対立、あらゆる分野のＤＸ加速や投資競争によって、半導体先端領域では需要が拡大しました。

この様な状況のもと、当社は半導体・電子材料の旺盛な需要を背景に増産に注力し、お客様や原材料調達先の協力のもと原燃料・運賃高騰分の販売価格への反映にも努め、当第１四半期における売上高は9,232,814千円（前年同期比+923,676千円、+11.1％）となりました。利益面につきましては、高付加価値な半導体先端領域向け製品の増加があったものの、原燃料・運賃の高騰や、生産設備開発など先行費用の増加により、営業利益は1,466,039千円(前年同期比△26,691千円、△1.8％)、経常利益は円安進行による債権の為替差益もあり1,788,196千円(前年同期比+312,689千円、+21.2％)、四半期純利益は1,229,982千円(前年同期比+209,653千円、+20.5％)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(感光性材料事業)

感光性材料関連は、５Ｇ対応スマートフォン・ＰＣなどの巣ごもり需要が一服し、フラットパネルディスプレイの需要も軟調となったものの、世界的なＤＸ・通信・データセンターへの投資は続いており、ロジック半導体などの先端領域では需要が拡大しました。これらの需要に対応するため増産に注力したことに加え、円安進行により売上は増加しました。

この結果、同事業の売上高は5,511,228千円（前年同期比+443,893千円、+8.8％）と伸長したものの、半導体先端領域向け技術開発や生産能力増強などへの先行投資、さらに原燃料の上昇もあり、営業利益は998,093千円（前年同期比△3,782千円、△0.4％）となりました。

(化成品事業)

電子材料関連製品は、感光性材料事業と同様に先端領域の半導体で需要が拡大したことから、売上は堅調に推移しました。

香料材料関連製品は、コロナ禍によるトイレタリー製品需要の増加が一服したことに加え、海外物流の混乱もあり、売上は前年同期を若干下回りました。

ロジスティック関連は、自動車の減産やサプライチェーン上の在庫調整などから、荷動きは減少しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は3,721,585千円（前年同期比+479,782千円、+14.8％）と伸長したものの、原燃料・運賃高騰の影響もあり、営業利益は467,945千円（前年同期比△22,908千円、△4.7％）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間における総資産は45,972,711千円となり、前事業年度末比913,342千円の減少となりました。

流動資産は19,524,014千円で、前事業年度末比242,344千円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金422,763千円の減少、商品及び製品266,385千円の増加などによるものであります。

固定資産は26,448,697千円で、前事業年度末比670,997千円の減少となりました。これは主に取得による増加287,185千円、減価償却による減少674,084千円によるものであります。

流動負債は18,040,462千円で、前事業年度末比1,265,956千円の減少となりました。これは主に賞与引当金345,822千円の減少、未払法人税等818,165千円の減少によるものであります。

固定負債は10,751,867千円で、前事業年度末比766,099千円の減少となりました。これは主に、長期借入金786,465千円の減少によるものであります。

純資産合計は17,180,382千円で、前事業年度末比1,118,713千円の増加となりました。これは主に四半期純利益1,229,982千円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年３月期の第２四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2022年５月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2022年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,681,136	3,633,095
受取手形及び売掛金	7,402,268	6,979,505
商品及び製品	5,747,767	6,014,153
仕掛品	234,220	244,734
原材料及び貯蔵品	2,098,214	2,160,254
その他	610,367	499,377
貸倒引当金	△7,617	△7,107
流動資産合計	19,766,358	19,524,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,785,043	10,734,996
機械装置及び運搬具（純額）	7,529,678	7,726,093
土地	4,912,147	4,912,147
建設仮勘定	1,499,063	961,623
その他（純額）	650,296	626,321
有形固定資産合計	25,376,229	24,961,182
無形固定資産		
その他	511,732	521,548
無形固定資産合計	511,732	521,548
投資その他の資産		
その他	1,231,733	965,966
投資その他の資産合計	1,231,733	965,966
固定資産合計	27,119,695	26,448,697
資産合計	46,886,053	45,972,711
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010,809	5,074,357
短期借入金	5,300,000	5,400,000
1年内返済予定の長期借入金	3,445,860	3,340,860
設備関係未払金	2,268,873	2,128,242
未払法人税等	1,117,858	299,693
賞与引当金	724,484	378,661
その他の引当金	52,860	12,690
その他	1,385,672	1,405,957
流動負債合計	19,306,418	18,040,462
固定負債		
長期借入金	9,073,951	8,287,486
退職給付引当金	1,781,428	1,816,605
役員退職慰労引当金	83,317	85,557
その他	579,269	562,218
固定負債合計	11,517,966	10,751,867
負債合計	30,824,385	28,792,329

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2022年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	12,938,876	14,049,805
自己株式	△92,145	△92,145
株主資本合計	16,007,209	17,118,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,458	62,243
評価・換算差額等合計	54,458	62,243
純資産合計	16,061,668	17,180,382
負債純資産合計	46,886,053	45,972,711

（２）四半期損益計算書

第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
売上高	8,309,137	9,232,814
売上原価	5,936,925	6,703,101
売上総利益	2,372,212	2,529,712
販売費及び一般管理費	879,481	1,063,673
営業利益	1,492,731	1,466,039
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3,603	4,329
為替差益	―	329,202
受取家賃	8,064	7,131
生命保険配当金	10,210	―
その他	6,102	10,987
営業外収益合計	27,982	351,653
営業外費用		
支払利息	32,573	26,940
為替差損	10,327	―
その他	2,305	2,555
営業外費用合計	45,206	29,496
経常利益	1,475,506	1,788,196
特別利益		
固定資産売却益	6	337
特別利益合計	6	337
特別損失		
固定資産除却損	3,113	11,462
特別損失合計	3,113	11,462
税引前四半期純利益	1,472,400	1,777,071
法人税、住民税及び事業税	302,892	273,157
法人税等調整額	149,178	273,931
法人税等合計	452,070	547,089
四半期純利益	1,020,329	1,229,982

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期累計期間(自　2021年４月１日　至　2021年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,067,334	3,241,802	8,309,137	―	8,309,137
外部顧客への売上高	5,067,334	3,241,802	8,309,137	―	8,309,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	68,875	68,875	△68,875	―
計	5,067,334	3,310,678	8,378,013	△68,875	8,309,137
セグメント利益	1,001,876	490,854	1,492,731	―	1,492,731

（注）　セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第１四半期累計期間(自　2022年４月１日　至　2022年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,511,228	3,721,585	9,232,814	―	9,232,814
外部顧客への売上高	5,511,228	3,721,585	9,232,814	―	9,232,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	73,445	73,445	△73,445	―
計	5,511,228	3,795,031	9,306,260	△73,445	9,232,814
セグメント利益	998,093	467,945	1,466,039	―	1,466,039

（注）　セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。